

競技別試合成立最低人数と試合不成立時の試合結果

競 技	試合人数	試 合 成 立 最 低 人 数	不 成 立 時 の 試 合 結 果 等
バスケット ボール	5 人	試合開始時は 5 人 1 人になった時終了	それまでの得点が勝ちチームが高い場合は、そのまま。負けチームが高い場合は、2 対 0。 試合開始時、予定時刻から 15 分すぎても 5 人揃わなかったら試合没収で 2 0 対 0。
サッカー	11 人	7 人	11 対 0 となる。
ハンド ボール	7 人	試合開始時は 5 人。 ケガで不足してもかまわない。	前半 6 対 0、後半 6 対 0 で合計 12 対 0。
軟式野球	9 人	9 人	人数不足チームの不戦敗となる。7 対 0 のコールドゲーム
体操競技	4 人	3 人	団体順位はなし（団体出場なしの場合）。個人の順位はつく。
新体操	5 人	5 人	棄権
バレー ボール	6 人	6 人	コート上でプレーできる選手が 6 人未満となった場合、不完全なチームとして、宣告される。セットあるいは試合の途中で不完全と宣告されたチームは、そのセットあるいはその試合を失う。相手チームには、そのセットあるいはその試合に勝つために必要な得点あるいはセットが与えられる。不完全となったチームのそれまでに得た得点及びセットは生かされる。
ソフトテニス	6 人	4 人	棄権（R 3－0）
卓 球	6 人	6 人 ①男女別の全校生徒数(部員数ではない)が各 5 人以下の場合。真にやむを得ない場合。大会には 5 人または 4 人で出場できる。 ②大会当日、大会開催地で急病または不慮の事故事件のため大会に参加することができなくなった場合(緊急事情)、選手が 1 人欠け不足したとしても試合出場を認める。2 人以上の不足については、別紙規定により協議することになる。(開催地に 5 人以下の選手しか引率して行かない学校の出場を認めるものではない。) ①②の場合は例外措置として参加を認めることがある。	対戦相手が人数不足でない場合で、1 人不足で 5 人で出場した場合は、1 番棄権で試合を開始する。2 人不足で 4 人で出場した場合は、1 番 2 番棄権で試合を開始する。対戦相手も人数不足である場合で、「1 人不足で 5 人で出場」対「1 人不足で 5 人で出場」の場合は、1 対 1 で試合を開始し、3 番 4 番 5 番で勝敗を決定する。「1 人不足で 5 人出場」対「2 人不足で 4 人で出場」の場合は、2 対 0 で試合を開始し、3 番 4 番 5 番で勝敗を決定する。2 人不足で 4 人の場合は、3 番 4 番 5 番のいずれも勝たねばならない。1 人不足で 5 人の場合は、3 番 4 番 5 番のいずれか 1 名が負けてもよい。「2 人不足で 4 人で出場」対「2 人不足で 4 人で出場」の場合は、1 対 1 で試合を開始し、3 番 4 番 5 番で勝敗を決定する。2 人が先取したチームが勝ちとなる。
バドミントン	5 人	5 人	棄権となりスコアは 2 対 0。ただし、試合途中の故障等による棄権は、その試合が棄権となり、その他の 2 ポイントの勝敗により団体戦の勝敗が決まる。
ソフトボール	9 人	9 人	7 対 0 のコールドゲーム。
柔 道	男子 5 人 女子 3 人	男子 3 人 女子 2 人	男子 5 対 0。女子 3 対 0。 男女とも大将より重い順に編成。したがって、男子は 4 人のときは先鋒が欠員、3 人のときは先鋒、次鋒が欠員。女子は 2 人のときは先鋒が欠員。
剣 道	5 人	3 人	不戦敗。（相手は不戦勝） 4 人の場合は、次鋒を抜く。3 人の場合は、次鋒、副将を抜く。
相 撲	3 人	2 人	2 人でエントリーし、1 人が負傷等で欠員した場合、対戦相手が 3 対 0 で勝ち。(1 人だけで試合することはできない。不戦敗となる。) 先鋒、中堅、大将のどこを欠員にしてもよい。一度配置した位置を移動することはできない。
ラグビー	12 人	試合開始時は 12 人 試合途中の人数減は OK	不戦敗。（相手は不戦勝） スコアは、5－0
テ ニ ス	7 人	7 人	棄権 試合途中に負傷等で棄権する場合は、当該選手の試合については 6－0 で対戦相手の勝ちとする。 (他の選手の試合は有効)